



2024年10月22日

各位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループCEO 阿部 修平
(コード8739 東証プライム市場)

**「未来創生3号ファンド」
ギフト特化型のテクノロジーオンラインプラットフォームを運営する
株式会社ギフトモールへの投資実行**

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2021年10月に設立された「未来創生3号ファンド」が、株式会社ギフトモール(本社:東京都中央区、代表取締役 CEO:藤田 真裕、以下「ギフトモール社」)への投資（金額は非開示）を実行しましたので、お知らせいたします。ギフトモール社は今回の調達資金を活用し、サービス及び新規事業拡大のためのプロダクト開発・M&A、そして開発職の採用と組織体制の強化を行い、より多くの顧客のもとに「絶対に喜ばれる感動体験」が簡単に届く世界の実現を展望しております。

■投資先企業の概要

「MAKE MORE SMILES～世界により多くのスマイルを。」を Purpose（存在意義）として経営理念に掲げるギフトモール社は、1人でも多くの方が笑顔になる世界を目指しています。2014年にサービスを開始した国内最大級のオンラインギフトサービスの『Giftmall』をはじめ、グループ全体で提供するギフト関連プラットフォームサービス群を順調に成長させてきました。直近では、お祝いイベント特化レストラン予約サービス『Anny お祝い体験』、訪日外国人向けローカルガイドツアーサービス『Magical Trip』など、コト・体験を提供するサービスにも進出しております。

グループの月間訪問ユーザー数は約3,600万人を突破し、2023年1月～12月のグループ全体の年間流通額は約200億円となり過去最高の流通額を記録しました(※)。

(※) グループ全体の年間流通額：グループ全体で提供するギフト関連プラットフォームサービス群で決済完了、もしくは予約完了に至った金額の合計

■「未来創生（1号）ファンド」、「未来創生2号ファンド」および「未来創生3号ファンド」の概要

未来創生（1号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた3社による総額約135億円の出資により、2015年11月より運用を開始しました。最終的には、上記3社を加えた計20社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技术を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約50社に投資しました。2018年下半期には、既存投資領域3分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生2号ファンドの運用を開始しました。そして、2021年10月から未来創生2号ファンドの5分野に加えて、「カーボンニュートラル」を投資対象とし、スパークスの子会社であるスパークス・アセット・マネジメント株式会社をファンド運営者とした未来創生3号ファンドの運用を開始しました。2024年9月末時点の運用資産残高は、1号、2号および3号をあわせて、1,143億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：<https://mirai.sparx.co.jp/investment/>



- 本件に関するお問い合わせ先
スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com